

災害の教訓を 未来に伝える

自然災害が起きた場所には、
その災害を記した石碑が建っていることがあります。
それは、将来起こるかもしれない災害に備えるため
先人達が残した、わたしたちへのメッセージです。



『自然災害伝承碑』とは

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害などの様相や被害の状況などが記載された石碑やモニュメントのことです。
- ◆ 主に被災場所に建てられており、それらを地図に表示することで地域住民への自然災害リスクの認識と防災意識の向上に役立つことが期待されます。



地理院地図における表示 (<https://maps.gsi.go.jp/>)

地理院地図 (電子国土WEB)

例: 駒岳 / 金沢市木ノ新保町 /

初期表示 印刷 共有 設定 ツール

水害碑

災害名: 洪水・土石流
(1907年7月15日)

詳細説明は画像をクリック

自然災害伝承碑を表示し、アイコンをクリックすると画像や伝承内容を表示できます

概要	
碑名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡坂町小屋浦四丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日未降り続いた豪雨により天地川や総頭川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。 関連外部サイトへのリンク集

ID:34309-002

地理院地図から分かったこと

地理院地図 (電子国土WEB) Q 例: 鵜岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒 / 35.00 135.00 / 54SUE83694920

亀石鼻 泉線 小屋浦トンネル 小屋浦(四) 小屋浦(三) 小屋浦駅

△228.3 102 △379

水害碑

概要	
碑名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡坂町小屋浦四丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川や総瀬川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。 関連外部サイトへのリンク集

ID:34309-002

坂町水害碑

概要	
碑名	坂町水害碑
災害名	平成30年7月豪雨 (2018年7月6日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	2021
所在地	広島県安芸郡坂町小屋浦四丁目(小屋浦公園)
伝承内容	平成30年(2018)7月6日の午後から7日の明け方にかけて記録的な豪雨となり、坂町全域において土石流や河川の氾濫により17名の命が失われ、行方不明者1名、全半壊家屋1,280件数(り災証明交付件数)を超える甚大な被害となった。明治40年、昭和20年、昭和40年の坂町の災害履歴とその犠牲者の氏名も刻字されている。碑の隣には、豪雨により土石流となって流出した石があり、「災害から自分の身を守るためには、早めの避難をするこ

この地域で明治40年におきた洪水・土石流被害を後世に伝えるために建てられた碑

再び災害が起こったことを後世に伝えるため、明治の石碑のとなりに建てられた

自然災害伝承碑の活用事例



教育現場 (広島県福山市)
校内に遺された自然災害伝承碑から当時の災害を学ぶことで、身近にある災害リスクを認識・共有



住民への周知 (広島県広島市)
市内の自然災害伝承碑の場所・概要・被害状況を記したリーフレットを配布。災害リスクの認識と防災意識の向上に活用

情報提供：広島市

一緒に伝えていきましょう

自然災害伝承碑かもしれないものを見つけたら国土地理院中国地方測量部まで御連絡ください。

国土地理院中国地方測量部 担当：TEL:082-221-9743 e-mail:gsi-cg7-denshou@gxb.mlit.go.jp